

北日本漁業経済学会 ニ ュ ー ス レ タ ー

会長・二平氏，副会長・長谷川氏，及び事務局が中心となり，今年度第41回大会の計画等について検討した結果，下記のように今年度は「**沿岸漁村における震災復興の現状と課題**」と題して，昨年度に引き続き震災復興に関するシンポジウムを企画することとしました。今大会は被災地・岩手県盛岡市の「岩手県自治会館」で開催することとし，現地の方々のリアルなご報告を中心にシンポジウムを組んでおります。多くの皆様方にご参加頂きますよう，お願い致します。

北日本漁業経済学会

第41回大会（岩手県・盛岡大会）計画

後援：岩手県・岩手県漁業協同組合連合会，岩手県信用漁業協同組合連合会，岩手県水産技術センター，東京水産振興会，全国漁業協同組合連合会，北海道漁業協同組合連合会

1. 会場及び開催日程

<会 場>

岩手県盛岡市 岩手県自治会館（3階・第1会議室）

020-0821 盛岡市山王町4-1 TEL 019-622-6171

（バス：盛岡駅⑤番乗場、「中央工業団地」行で15分「山王下」下車すぐ）

<日 程>

11月8日（木） 理事会 18時～20時

場 所：アイーナ岩手県民情報センター（8階・805会議室）

020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 TEL 019-606-1717

（JR盛岡駅西口から徒歩4分）

11月9日（金） シンポジウム 13時～17時

場 所：岩手県自治会館 3階 第1会議室

懇親会；17時30分～19時 （場所：同会館内・レストラン飛鳥）

11月10日（土） 一般報告 9時30分～16時30分頃まで

場 所：岩手県自治会館 3階 第1会議室

2. シンポジウムテーマ

「沿岸漁村における震災復興の現状と課題」

コーディネーター：

井ノ口伸幸（岩手県水産技術センター所長）、濱田武士（東京海洋大学准教授）、
二平 章（茨城大学地域総合研究所客員研究員）

●主催者挨拶 二平 章（北日本漁業経済学会会長）

● 挨拶 大井誠治（JF 岩手県漁連会長）

<報 告>

1. 沿岸漁村・漁業復興のための基本的視点

加瀬和俊（東京大学社会科学研究所教授）

2. 震災復興の到達点と今後の計画

橋本 牧（水産庁漁港漁場整備部長）

3. 漁村の歴史と「なりわい」重視の復旧・復興対策

大村益男（岩手県農林水産部技術参事兼漁港漁村課総括課長）

4. 漁協の震災被害と漁業復興への取り組み

畠山昌彦（JF田老町漁協総務部指導課長）

5. 浜の女性からみた震災復興

熊谷節子（JF綾里漁協女性部長・岩手県漁協女性連絡協議会副会長）

6. 商工会からみた漁村の復興

佐々木幸夫（大槌商工会事務局長）

7. 自治体職員の復旧支援活動と復興課題

菊池行夫（釜石市産業振興部水産農林課課長）

<パネル討論> 司 会；濱田武士（東京海洋大学准教授）

井ノ口伸幸（岩手県水産技術センター所長）

開催趣旨：

巨大津波の襲来から1年半が経過した。東日本大震災で大きな被害を受けた三陸沿海には、いくつかの水産機能集積都市と多数の小規模漁村が存立する。水産機能集積都市の重要性はいうまでもないが、三陸漁民の圧倒的多数は津々浦々の漁村社会・漁協組織に属しながら、湾内養殖業や小型漁船漁業を営む。本シンポでは、三陸、特に岩手県に特徴的な浦々の漁村社会形成の歴史に着目しながら、生業（なりわい）の復旧を復興計画の基本にすえ、地区漁協や市町村の「自治力」の役割を重視したその復旧・復興政策とその実践につとめている漁協、市町村・県の取り組みの基本的視点および復旧の経過と現状を報告いただきながら、今後の三陸漁村の復旧・復興そして地域再生への課題をさぐる。

3. 一般報告の募集

第41回大会での一般報告を募集します。

一般報告を申し込む方は、報告のタイトル及び報告者の氏名・所属を明記した報告要旨（原則としてA4・1枚以内）を、事務局・宮澤（北大農学院住所）までメールまたはFD等でお送り下さい。

一般報告・要旨の提出期限は、10月16日（火）とします。

会員諸氏多数の申込みを期待しております。

4. 学会誌編集委員会開催通知

第41回大会期間中、下記の通り学会誌編集委員会を開催します。編集委員及び編集幹事の方はご参席下さい。

日 時； 11月9日（金） 9：00～11：00

場 所； 岩手県自治会館 3階 第1会議室

編集委員；三輪千年，古林英一，宮崎隆志，宮澤晴彦，長谷川健二，副島久実，廣田将仁，
甫喜本憲

編集幹事；三木奈都子，宮澤晴彦

<編集委員会からのお詫び>

学会誌・北日本漁業第40号の発行が大変遅れてしまったことを会員諸氏に深くお詫び致します。40号は現在2校を1本残すのみとなりましたので、来週中（9／10以降）には発送できると思います。

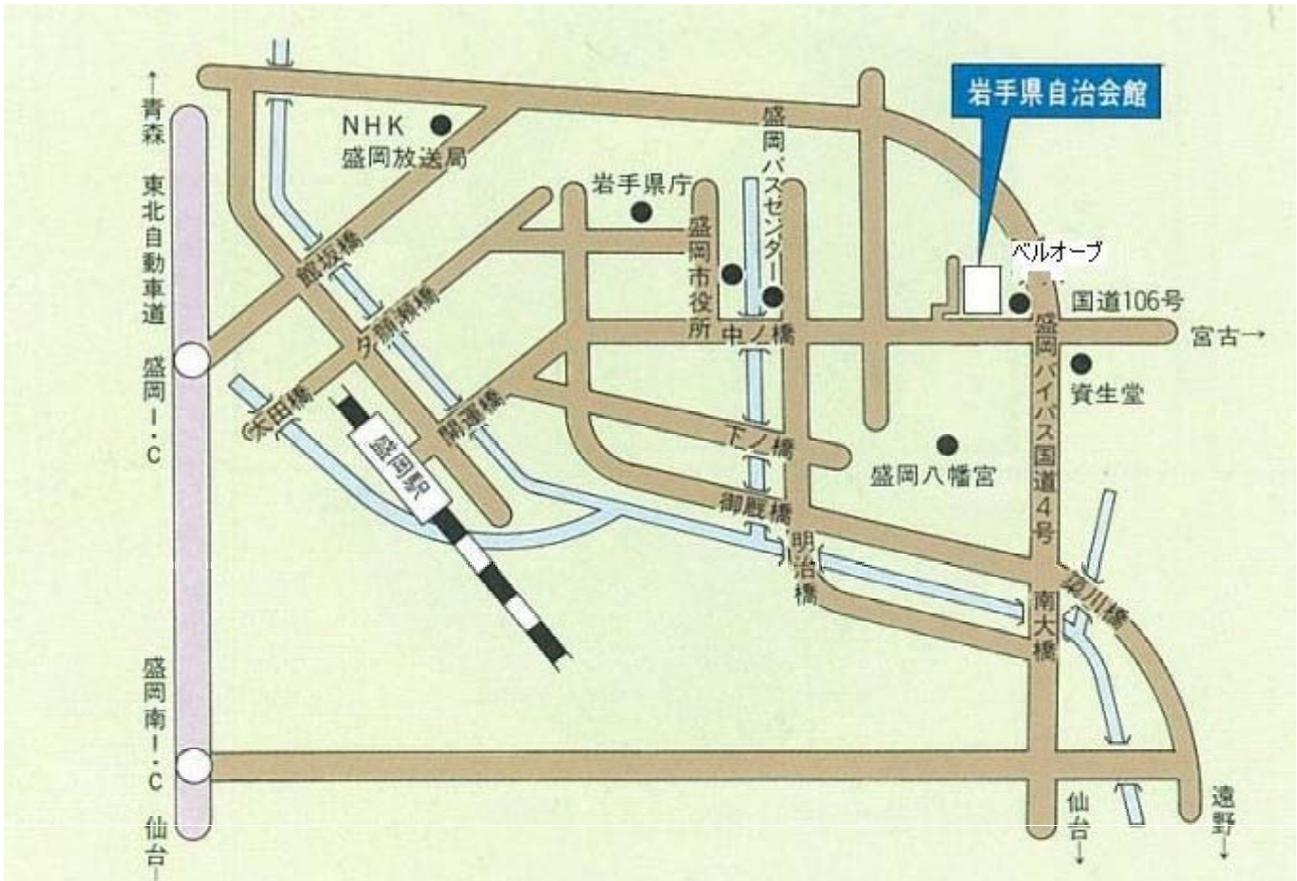
今号の編集に当たっては、新しい編集委員会体制の下で丁寧な編集作業を心がけてきましたが、不慣れな部分も多く、予想以上に時間がかかってしまいました。計画したスケジュール通りに編集作業が進んだ論文も少なからずありましたが、一部の著者の方の原稿提出遅れや、初校の提出遅れ、あるいは編集委員と査読者や著者とのやりとりの遅れなどが種々重なって全体的な遅れが生じました。しかし、このような点にとどまらず、編集委員会の力不足や不手際も問題とされねばなりません。

今回の問題については編集委員会としてきちんと総括し、改めて編集体制の強化に取り組んでいきたいと考えております。

5. 会計からのお願い

会員の皆様には先日、学会費納入依頼通知をお届けしております。大会前に適切な会計処理を行うために、**できるだけ早めに納金**頂きますようお願い致します。

<大会会場案内略図>



* 宿泊は各自で手配して下さい。

北日本漁業経済学会事務局（事務局長；宮澤晴彦）

〒 060-8589 札幌市北区北 9 条西 9 丁目
北海道大学大学院農学院 水産資源経営学分野
TEL/FAX 011-706-4139

〒 041-8611 函館市港町 3 - 1 - 1
北海道大学水産学部 海洋社会科学分野
TEL 0138-40-8834 FAX 0138-40-8835
E-mail miyazawa@fish.hokudai.ac.jp